

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	診察学応用1	
科目基礎情報					
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	東洋療法学校協会 指定教科書				
担当教員情報					
担当教員	矢野 恭一郎	実務経験の有無・職種	有・鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師		
学習目的					
東洋医学的診断法と西洋医学的診断法を学び、適切な施術を施すための判断力を養う。鍼灸施術にとって最も大切な能力は、その患者の状態を正確に把握することである。そのための方法として、東洋・西洋の両方に存在する人体把握の方法を身につけることを目的とする。					
到達目標					
東洋医学的な観点からの人体のとらえ方を学ぶ。東洋医学概論における四診を理解、認知し、東洋医学の「人の診方」を身につける。東洋哲学に立脚した人体に対する洞察は優れたものがあり、五感を駆使して患者に接する方法を学ぶ。					
教育方法等					
授業概要	東洋医学、中医学の真髄は弁証論治にある。弁証は四診（望、聞、問、切）を根拠にしている。四診それぞれの意味、使い方を理解し、病態と病理機序を弁明出来るようにする。また、鍼灸施術においてどのような役割を持つのかを学ぶ。視覚、嗅覚、聴覚、触覚に加えて言葉の情報による身体情報の把握方法を習得することを目的とする。				
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	100%	期末試験(筆記試験)		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
平常点	0%				
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ガイダンス、四診の意味①	東洋医学における四診の意味、弁証論治の重要性を理解、把握する			
2回	四診の意味②	東洋医学における四診の意味、弁証論治の重要性を理解、把握する			
3回	望診①	視覚による情報により患者の心身の状態を把握する方法を理解する			
4回	望診②	視覚による情報により患者の心身の状態を把握する方法を理解する			
5回	望診③、舌診実技	舌の状態を視覚で観察し、臓腑の状態、存在する病理を推察する方法を理解する			
6回	聞診①	聴覚、嗅覚による患者の持つ臭いや音などから情報を収集する方法を理解する			
7回	聞診②	聴覚、嗅覚による患者の持つ臭いや音などから情報を収集する方法を理解する			
8回	問診①	対話から得る患者の訴えを認識し、心情に至るまでの分析する方法を理解する			
9回	問診②	対話から得る患者の訴えを認識し、心情に至るまでの分析する方法を理解する			
10回	問診③	対話から得る患者の訴えを認識し、心情に至るまでの分析する方法を理解する			
11回	問診④	対話から得る患者の訴えを認識し、心情に至るまでの分析する方法を理解する			
12回	切診①	触覚による患者の身体各部から収集できる情報を認識し、分析する方法を理解する			
13回	切診②、腹診実技	腹の状態を触覚で診察し、臓腑、気血津液の状態を推察する			
14回	切診③、脈診、経穴診実技	脈の状態を触覚で診察し、経穴反応と合わせ、臓腑、気血津液の状態を確認する			
15回	四診まとめ、総合実技	モデルに対して、四診を用いケーススタディーする			